

県議選アンケート④

賛成5割超、嶺南全員

「どちらとも言えず」14人

県議選の立候補予定者45人に行った福井新聞社の政策アンケートで、原子力規制委員会の安全審査に事実上合格した関西電力高浜原発3、4号機の再稼働について「賛成」と明確に回答したのは26人になり、5割超を占めた。嶺南3選挙区は全員が再稼働を容認。反対は5人だった。

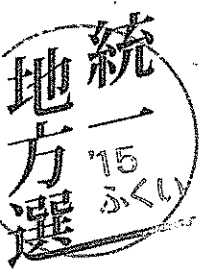
高浜の再稼働をめぐる高浜の再稼働をめぐっては、地元の高浜町会が3月20

日に同意することを決定。野瀬豊高浜町長は知事選後に判断するとし、選挙後の県会の対応も注目される。県は判断の前提として、原発の重要性に対する国民理解の促進など5条件を国に提示し、回答を求めている。

賛成とした理由は「安全性の確保が絶対条件」（福井市選挙区の現職）「審査の厳しい規制委が安全と認めたなら大丈夫」（小浜市・三方郡・三方上中郡の現職）など、安全性を十分に確認した上で再稼働を容認する意見が大半を占めた。

「嶺南の経済と雇用を考え、現実立脚すれば再稼働すべきだ」（小浜市・三方郡・三井市の現職）と住民避難の実効性を重視する意見や、「将来的には原発に依存しない社会を目指す」（福井市の新人）との声もあった。

反対の5人の理由は、「東京電力福島第1原発事故の原因究明や事故の収束がされていない」（越前市・今立郡・南条郡の新人）と福島事故を重く見る声や、「廃棄物の処理問題が解決されていない」（吉田郡の新人）などがあった。



原発再稼働

一方、「どちらとも言えない」を選択したのは14人。県の5条件に対する国の回答を見ただけで判断したいとする意見が多く、「電源構成を示し、原子力の位置付けを明確にすることが前提」（越前市・今立郡・南条郡の現職）など、国の姿勢を問う声も目立った。

「県の5条件に広域避難体制の確立も前提とすべき」（福井市の現職）と住民避難の実効性を重視する意見や、「将来的には原発に依存しない社会を目指す」（福井市の新人）との声もあった。

選挙区別では嶺南3選挙区の9人全員が賛成の一方、県内原発から30キロ圏に入る越前市・今立郡・南条郡の7人のうち6人が「どちらとも言えない」「反対」を連ねており、地元有権者の意識を反映していると考えられる。

新人・元職16人の内訳は、賛成9人、どちらとも言えない4人、反対3人だった。（青木伸方）

知事選期日前投票
5日で1546人
県選管

高浜原発3、4号機の再稼働についてどう考えますか（○=賛成、×=反対、△=どちらとも言えない）

県議選立候補予定者アンケート④

山本	芳男	自現	⑦	○
野久	富雄	民現	⑤	△
山正	藤雄	民現	④	△
佐正	藤雄	共現	③	×
松泰	田典	自現	③	○
大幸	森男	自現	②	○
畑幸	井子	自現	②	○
中玲	部航	自現	①	○
井智	部航	自無	○	○
清水	信智	自無	○	○
長光	信智	自無	○	○
西惠	信智	自無	○	○
峯一	信智	自無	○	○
岡彦	一彦	自現	③	△
東央	一彦	自無	○	△
山文	雄緑	自現	⑦	○
本新	新緑	自現	④	○
斎知	惣知	自現	①	○
西畑	知佐	自無	○	○
岸猛	夫司	自現	④	△
山庄	夫司	自無	④	○
松井	拓夫	自現	③	○
田敏	幸夫	自現	④	○
中康	夫衛	自現	③	△
村久	保衛	自現	②	○
関倉	治克	自現	⑦	△
仲川	典を	自現	③	△
細川	かを	自無	①	×
宮本	一憲	自無	○	×
題佛	臣一	自無	○	×
辻山	隆敏	自無	○	×
石与	吉晃	自現	⑤	○
嵯谷	好夫	自現	②	○
宮崎	則豊	自無	○	○
力野	則豊	自無	○	○
川平	一俊	自現	④	○
中西	正之	自無	②	○
池本	英友	自無	○	○
小堀	友廣	自無	○	○
鈴木	宏正	自現	②	△
松川	正樹	自無	○	×
島田	一和	自現	①	○
藤野	利和	自無	①	○
田中	宏典	自現	②	○

※立候補予定者の順序は現・元・新、当選回数順、50音順。現元職の○数字は当選回数、政党公認は自=自民、民=民主、公=公明、共=共産、無=無所属